

第30回
サイエンスカフェえひめ

洞窟に息づく、 小さな動物たち

光の届かない暗闇の世界
(洞窟)にも、さまざまな
動物が暮らしています。
厳しい環境に適応して進化
した動物たちを紹介します。



日時 平成31年

3月26日(火)

19:00~20:30

場所 愛媛大学 松山市文京町3番
愛大ミュージアム (ミュージアムがある建物)
1F ミュージアム多目的室

対象 自然に関心がある人 30人

参加費 200円

【お申し込み】お名前、電話番号、e-mailアドレス(お持ちの場合)を明記の上、下記連絡先までお申し込みください。(個人情報 は適正に管理し、当事業関係のご連絡にのみ使用します。)

NPO 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

FAX: 089-992-9152

主催: NPO 森からつづく道
後援: 愛媛大学ミュージアム



◆話題提供 毛利 俊樹さん

1944年愛媛県八幡浜市生まれ。1967年愛媛大学農学部卒業後、愛媛県の県立高校教諭。2005年3月定年退職。学生時代から洞窟に興味を持ち、趣味として洞窟動物の調査をしている。

写真【上】鍾乳石の間を飛ぶコキクガシラコウモリ
【中】洞壁のくぼみに不規則網を張るラカンホラヒメグモ
【下】アシナガメクラチビゴミムシ: 日本では洞窟にもっとも適応した昆虫